



## 三位一体のデザイン型共創社会にむけて

一般社団法人日本ヒーブ協議会

代表理事

梶原織梨江氏

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当協議会は、企業の消費者関連部門等で働く女性の事業者団体として、今年で四十三年目を迎えます。私たちヒーブは、生活者と企業の双方を理解し、新しい価値を創造・提案することで、生活者の利益及び企業の健全な発展に寄与

することを使命としています。

今年度は、「三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション―ヒーブ視点の実践―」をテーマに、生活者・企業・行政と連携をとりながら積極的に発信していくことを目指し活動しています。

その一つとして、福岡（十二月）と大阪（一月）において、内閣府、

男女共同参画推進連携会議とりレーシンプोजウム「男女共同参画社会の共創―生活者・企業・行政で創る九州／関西の未来―」を共催し、一月二十九日には東京での報告会も実施予定です。

これからもヒーブの強みを活かして、生活者・企業・行政のより良い関係構築に向けた活動ならびに発信を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

